茨木市立福井小学校　　令和３年（2021 年）12 月 14 日

福井だより

福井から未来へ！

校長　吉田　明弘

スマイル（人権）週間の取り組みの様子を紹介します。

世界人権宣言が採択された日（12 月 10 日）にちなんで、わが国では 12 月４日から 12 月 10 日を人権週間としています。今年度、福井小学校では、感染症の状況や校内の行事などを考慮して、「スマイル週間（人権週間）」の時期や内容を決めました。



１１月１０日（水）に人権作品発表会をテレビ放送で行いました。作文・詩には２・４・６年が、ポスターには１・３・５年が、標語には全学年が取り組んでいました。作文・詩は各クラス１名、ポスターは各クラス１点、標語は各クラス１名、全校に向けて発表しました。

この日は、その後、教員による読み聞かせを行いました。低学年には「あの子（ひぐちともこ作）」、中学年には「くれよんがおれたとき（かさいまり作）」、高学年には「ローザ（ニッキ・ジョヴァンニ作）」を取り上げました。



１１月８日（月）には、低学年向けの人権講演会を行いました。「性の多様性（ひとりひとりみんなちがうこと）」をテーマにして藤原直さん（MixRainbow）に話していただきました。

そして、１２月６日（月）には、高学年向けの講演会を行いました。「多文化共生（いろいろな人が仲良く暮らすこと）」をテーマにして、文公輝さん（多民族共生人権教育センター）を招きました。

福井小学校では、人権教育については、まずは「知ること」、次に「考えること」、そして「行動すること」を目標にしています。

※人権発表会やその後の担任による読み聞かせ後の感想

◇1・２年生「あの子」

・みんながいつもえがおでくらせるようになればいいとおもった。（１年）

・そのこがそんなことといわれただけでそんなことはしんじたくもない。うわさを１かいでもきいたら「ちがうかもしれんで。」といおうとおもいます。（１年）

・うわさ話したらだめ。あの子といっしょにかえったらあかんでて言ったらその子がきずつくからだめだよ。ともだちがちゃんと言ってて（発表していて）すごかった。（２年）

◇3・４年生　くれよんがおれたとき

・６年生のじんけんひょうごで「だいじょうぶ　ことばのナイフ　投げてない」のことばのナイフときいたとき、ぼくは投げているかもと思いました。このひょうごをきいて、ことばのナイフをなげないでおこうと心をいれかえました。（３年）

・わたしは、人けん発表会で友だちがでていてすごいなと思いました。来年、わたしもがんばってポスターや人けんひょうごで人けん発表会に出したいと思いました。１年生やほかの学年もすごいさくひんや文などですごい。また、１年２年生はまだていがくねんなのにすごいさくひんで、５年６年生はやっぱりすごいなとそんけいしました。（３年）

・心のナイフや心や人などの言葉をつかって人権作文や詩やひょう語を書いていたから大切だなぁと思った。わたしはよかったねなどのことを言える自分がいなかったけどゆうちゃんの気持ちをしった。いっしょにかえれてよかったなぁと思った。（４年）

・６年生の〇〇さんので私も一度入院したときは小さい声でしかおれいができなかったのでこの作文をきいて会ったらー言は声をかけることができたらいいなと思いました。（４年）

◇5・６年生　ローザ



・人権標語、ポスター、作文で色々な大切なことをまた気づかされました。黒人は昔からさ別を受けているのは知っていたけど、こんなにひどいとは思いませんでした。ローザの一言で社会が変わるならぼくたちも出来ることがあるのじゃないのかなと思いました。（５年）

・人の命は大切だと思った。言葉や気持ちはきょうきとわかった。行動を少しまちがえるとかなしむ人がいると思った。みんな、いろいろな個性があるからいいなと思いました。個性や人の命、自分の命や行動はとても大切だということ大事だと、とても思った。さべつはしてはぜったいにダメだということがわかった。（５年）

・ローザさんがゆう気をもって「ノー」とこたえただけなのに、つかまったのはおかしいと思った。そのゆう気を見た人たちにえいきょうをあたえて、その人のためにがんばったのもすごいゆうきだと思った。はだの色がちがうだけで差別するのもおかしい。ぼくは、人のはだはひとの個性だと思います。（６年）

・ぼくは、なぜ差別をするのかを考えました。色々考えましたが分かりませんでした。でも差別をする意味がないというのは確かだと思います。見た目がちがうだけできめつけられて差別している方はまったく人権のことを考えていないのだと思います。なので、自分でできることは口だけではなく行動にうつしていきたいと思います。（６年）